たねや グループ 掲載記事

WPTC2012日本チーム連覇

製菓の国際コンクール（World Pastry Team Championship）

週刊新潮 2012 年 8 月 2 日号　P14-15

受賞作の一部。球体の宇宙他、チョコで創ったハスの花、飴細工で創ったカエル等を。それぞれに半日はみっちりかけている。小野林範（左端）、妹尾徹也（左から5番目）、藤田浩司（右端）の各氏

小妹尾徹也 野林範

老舗和菓子屋から生まれたスイーツ・アーティスト

近頃、パティシエ、ショコラティエなる職種、スター並みの人気である。そして先頃、米国ラスベガスでスイーツの世界大会、WPTC（ワールド ペストリー チーム チャンピオンシップ）が開催され優勝したのが日本。2年に一度の製菓の国際大会で、前回に続き連覇達成である。チームの中で個人優勝もしたパティシエ・妹尾徹也さん（36＝上右）、ショコラティエ・小野林範さん（33＝同左）を職場に訪ねた。2人は「クラブハリエ」という全国の百貨店にも出店する人気店のシェフ。この店、滋賀県にある創業100年の老舗和菓子屋、「たねや」の洋菓子部門でこちらも60年の伝統を誇る。

今大会のテーマはホロスコープ（星占い）。妹尾さんは飴細工でおとめ座を、小野林さんはいて座を表現し、受賞作の一部、宇宙をイメージしたチョコの球体（右の中央）を再現してくれた。2人とも大学卒業後この世界に入ったが、小野林さんなど有名菓子店の内定を受けていたのに、バイトで出会った「クラブハリエ」の菓子創りの世界に惹き込まれて後戻りできなくなった、笑いながら言う。

「商社の内定を蹴ったとき、オカンは怒ってましたけど」

日本は2人に加え、ヒロコーヒー所属の藤田浩司さん（42）も加わった。2日間、計13時間の審査の中で6カ国が競った。他国が100グラム前後の作品の中で日本はチョコも飴細工も2kgという大きなオブジェに。そして仕事量が多い。つまり、飾りつけが多いという点等も審査対象になった。妹尾さんが言う。

「アイスクリームマシンが壊れたり、会場の室温が高かったり、トラブルも多かった。平常心で、練習を積んだ通りに形にすることで、必死だった。"世界一"決定の瞬間、2人とも"泣いちゃった"――五輪と同じ世界がここにもある。

撮影・吉川 譲（8）

PCG（全日本洋菓子工業会）ホームページ　NEWS

WPTC2012

チームJAPAN（妹尾徹也氏、小野林範氏、藤田浩司氏）が前大会に続いて優勝！！

7月8日～9日の2日間に亘り、米国アネバダ州ラスベガスで開催された製菓コンクールのワールド・ペストリー・チーム・チャンピオンシップ
（WPTC）において、チームJAPAN（シュガーピース担当／リーダー　妹尾徹也氏（㈱CLUB HARIE）、チョコレートピース担当　小野林範氏
（㈱CLUB HARIE）、味覚担当　藤田浩司氏（ヒロコーヒー））が激闘の末、見事優勝を果たした。
第6回目となった本大会のテーマは「ホロスコープ（星占い）」。
チームJAPANは、前回に続き2度目の優勝。部門賞ではベストシュガーショーピース、ベストチョコレートショーピースを受賞している。
なお、2位にアメリカ、3位にオランダが上位入賞した。

※詳細はPCG10月号で特集します

▲優勝し喜びいっぱいの選手達　左より妹尾氏、小野林氏、藤田氏

▲競技中の様子

▲チームJAPANの作品。第6回目となった本大会のテーマは「ホロスコープ（星占い）」。部門賞でベストシュガーショーピース、ベストチョコレートショーピースを受賞した

毎日新聞 2012 年 7 月 25 日（水）26 面

お菓子のワールドカップ

日本代表が連覇

「たねや」妹尾さんら快挙

世界大会連覇を果たした日本チーム。写真は右からチームキャプテンの妹尾徹也さん、味覚部門の藤田浩司さん、チョコレート担当の小野林範さん
＝ラスベガスにて、たねや提供

【斎藤和夫】

米国のラスベガス（ネバダ州）でこのほど行われた製菓の国際コンクール「WPTC 2012」で、「たねや」（本社・滋賀県近江八幡市）のクラブハリエシェフの妹尾徹也さん（36）が率いる日本代表チームが優勝、10年の前大会に続いて連覇を果たした。

WPTCは4年に1度、アメリカで開催される製菓の国際コンクール。フランスのリョン・ド・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー「ブ・ドゥ・ラ・パティスリーブ」と並び、世界のトップパティシエから注目を集めているコンクール。アメ細工部門、チョコレートピエス部門、味覚部門からなる3人1組で製菓技術を競う、お菓子のワールドカップ。

日本チームは、アメ細工部門の妹尾さんをキャプテンに、チョコレートピエス部門は「たねや」のクラブハリエシェフの小野林範さん（33）、味覚部門は大阪のヒロコーヒーの藤田浩司さんが出場。大会テーマは「ホロスコープ（星占い）」で、妹尾さんは女性を、小野林さんは射手座をモチーフに製作、連覇に貢献した。

6回目を迎えた今大会には6カ国が出場、2位はアメリカ、3位はオランダだった。

たねや グループ 掲載記事

WPTC2012日本チーム連覇

製菓の国際コンクール（World Pastry Team Championship）

中日新聞 2012 年 6 月29日

2012年（平成24年）6月29日（金曜日） びわこ 16

びわこ版

洋菓子の技術 大舞台で追求

妹尾さん、小野林さん

クラブハリエ

近江八幡

米国で二年に一度開催される、洋菓子作りの技術を競う世界大会「ワールド・ペストリー・チーム・チャンピオンシップ（WPTC）」に、洋菓子店「クラブハリエ」（本店近江八幡市）の、ともにシェフパティシエ妹尾徹也さん㊧と小野林範さん㊨ら、兵庫県のコーヒー専門店シェフパティシエの三人が、日本代表メンバーとして出場する。七月八、九日の本番に向け、日本勢の二大会連続優勝を目指して練習に励んでいる。（辻井勇太）

今年のWPTCには、米国やオランダなど七カ国が出場する。各国三人一組のチームで、飴細工、チョコレート細工、味覚の三部門で競う。二日間計十三時間以内で作った作品や洋菓子九種類を、味、見た目、独創性、バランスなどで審査する。

昨年二月に幕張メッセ（千葉県）で開かれた「WPTC国内代表選考会」で、飴細工で妹尾さんが、チョコレート細工で小野林さんがそれぞれ優勝し、大会への出場権を獲得した。

練習では本番の時間配分を意識して、逐一時計を見ながら作業を進めている。小野林さんは「チョコレートは湿気も考慮して作らないとうまく固まってくれない。思うようにいかないと時間ばかり気になってしまう」と苦労を話す。

作品のデザインは、イメージをテッサンにし、実際に作りながら試行錯誤して仕上げた。

妹尾さんは「一瞬が見ても美しい飴細工を作りたい。会場は緊張と戦うが、いつも通りに楽しくできれば」と練習に打ち込む。

おととしの前回大会では、クラブハリエの山本徳夫社長㊧らが初出場し、日本チームを見事、初優勝に導いた。社長に続けて二人は意気込んでおり「やるからには優勝したい」と話している。

㊧真剣な表情で練習する小野林さん ㊨大会に向けて練習に熱が入る妹尾さん＝いずれも近江八幡市北之庄町で

㊧小野林さんのチョコレート作品 ㊨妹尾さんの飴細工作品＝いずれも代表選考会で、クラブハリエ提供

京都新聞 2012 年７月１日

湖国の技でとろけさせろ！

菓子世界一へ 闘志

8日、米でパティシエコンクール

2職人、技磨く

パティシエ（洋菓子職人）の世界一を決める製菓コンクール「ワールド・ペストリー・チーム・チャンピオンシップ（WPTC）」に、滋賀県から2人が日本代表として出場する。3人一組で15種のケーキや工芸菓子を作る団体戦で、米国で7月8日から5日間行われる本番に向け、練習を重ねている。

コンクールに向け、チームワークを深める（左から）小野林さん、妹尾さん、藤田さん＝近江八幡市北之庄町・クラブハリエ北之庄寮

妹尾徹也さん（36）＝東近江市垣見町＝と小野林範さん（33）＝滋賀県日野町、いずれも洋菓子製造販売会社「クラブハリエ」（本社・滋賀県日野町）の職人。2年に1度開かれる、今回はラスベガスのホテルが会場で、日本、米国、オランダなど7カ国が出場。ケーキなど観賞用の菓子を各1基製作する。

コンクールは米国で7月8日から5日間行われる。妹尾さんはアメ細工、小野林さんはチョコレート細工で高さ2m前後の工芸菓子を各1基製作する。競技は7月8日に5時間、9日に8時間の計13時間におよぶ長丁場。分刻みで高度な菓子を作る必要がある。3人は勤務の合間を縫い、近江八幡市北之庄町にあるクラブハリエの研究開発棟に連日集まり、リハーサルに励んでいる。

妹尾さんは「女性の美しさがテーマの作品で勝負したい」、小野林さんは「やるからには優勝を目指す」と意気込む。

（八幡一男）

国内選考会で優勝した際に妹尾さんが作ったアメの工芸菓子＝2011年5月、千葉市・幕張メッセ

京都新聞 2012 年７月11日

日本、パティシエ世界一 米大会

湖国2職人活躍

パティシエ（洋菓子職人）が技を競う世界大会「ワールド・ペストリー・チーム・チャンピオンシップ」が8、9の両日、米国ラスベガスで開かれた。出場3人中2人が滋賀県在住の日本代表チームが総合優勝した。

日本代表チームは東近江市垣見町の妹尾徹也さん（36）、彦根市日夏町の小野林範さん（33）、兵庫県伊丹市の藤田浩司さん（42）。妹尾さんはアメ細工部門、小野林さんはチョコレート細工部門でも優勝した。

妹尾さん、小野林さんは洋菓子製造会社「クラブハリエ」（本社・滋賀県愛荘町）の職人。

大会は米国で2年に1回開かれ、今回は6カ国が出場した。日本の総合優勝は2010年の前回に続いて2回目。

（八幡一男）